

# 損保ジャパン記念財団 *News* 平成14年10月

●発行者：財団法人損保ジャパン記念財団 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-1  
TEL03-3222-3622 FAX03-3222-3634 <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation/> Eメール:fvvgp3340@mb.infoweb.ne.jp

## 自動車購入費助成の応募要領決まる

平成14年度社会福祉助成として、福祉系の市民活動団体に対する「NPO法人設立資金助成(3,000万円)」を実施したのに続き、10月15日より「自動車購入費助成」(1,000万円)の公募を開始します。本年度は東日本地区を対象に、その応募要領が下記の通り決定いたしました。この内容は、当財団のホームページや各地区の社会福祉協議会、マスコミを通して案内されておりますが、皆様からの情報提供もよろしくお願いいたします。

### < 応募要領 >



- |              |   |
|--------------|---|
| 1. 助成対象者     | (1) 福祉活動を行う団体のうち、主として障害者の在宅福祉活動を行う団体 ただし、加齢に伴う障害者(高齢者)団体を除く。<br>(2) 東日本地区(北海道・東北・関東・甲信越・静岡県)に所在する団体<br>(3) 特定非営利活動法人、社会福祉法人(小規模通所授産施設に限定)の法人格取得を目指している団体、あるいは既に取得している団体 |
| 2. 助成金額      | 1団体100万円まで(総額1,000万円)   |
| 3. 選考基準      | (1) 原則として購入予定自動車の車両購入価額は、助成金額の2倍(200万円)以下であることとします。なお、車両購入価額とは諸費用を含まない本体価額とします。<br>(助成の際に、改めて車種・購入先をご相談させていただきます。)<br>(2) 将来展望を持ち先駆的な活動を行っている団体、既に活動実績のある団体を優先します。      |
| 4. 申込方法      | (1) 所定の申込書に内容記載のうえ、当財団事務局に郵送してください。<br>(2) 募集期間 平成14年10月5日(火)～平成14年11月5日(火)まで(当日の消印有効)  |
| 5. 選考方法と助成時期 | 11月開催予定の選考委員会で選考し、12月下旬助成予定   |

# 「NPO法人設立資金」の助成先決まる

本年度で4回目を迎える「NPO法人設立資金助成（社会福祉助成）」は、9月9日開催の選考委員会で慎重な審査を経て、42都道府県100団体への助成が決定しました。

（本年度の応募は44都道府県285団体から受付）

助成金額は1件あたり30万円、総額3,000万円で、本助成開始以来4年間の累計は、400団体へ1.2億円となっています。その多くの団体が法人格を取得し、各地で地域福祉の向上に熱心な取組を展開しています。

贈呈式は、東京近郊の1都3県の助成先を対象に10月29日本社にて（当財団主催、損保ジャパン本社ビルに於いて）、それ以外の地区は助成先の最寄りの支店主催で開催されます（9/24付全社通達参照）。

\*\*\*本年度の応募状況から\*\*\*

## 1. NPO法人化の動きは全国へ広がる

本年度の申込件数ベスト5は、東京都38件、神奈川県28件、大阪府27件、兵庫県27件、埼玉県12件と大都市に集中し、この5県だけで全体の半数近くを占めますが、申込は年々各地に広がりを見せ、本年度は44都道府県の団体から申込を受け付けています。福祉系の市民活動団体は、法人化することで地域の社会的信用を得、介護保険の事業者認定を受けたり、行政からの委託事業を受託する事が出来るようになり、その活動範囲を広げつつ地域に密着した福祉サービスの担い手として着実に成長しつつあります。

今や地域福祉サービスはこれらの団体無しにはその充実が難しく、任意団体から法人化への動きはますます増えていくものと思われます。（全国のNPO法人数：約7,700）

## 2. 福祉系NPO法人の事業内容はバリエーションが豊富に

高齢者や障害者の在宅福祉活動を行う団体からの申込みが中心となりますが、市民団体による福祉活動の範囲は広域にわたってきています。例えば、音楽・絵画・陶芸・演劇・人形劇・腹話術・料理等の文化活動団体、障害者スポーツ(ダイビング・セーリング他)の団体、アニマルセラピー(乗馬・犬等を介しての活動)の団体、ファッションやメイクアップの団体、インターネット放送局や写真等による情報発信の団体、福祉のまちづくり(例えば温泉街を福祉の町に、農園を中心とした福祉の地域づくり)の団体、ホームレスや薬物依存者を支援する団体、不登校児やLD児を支援する団体、権利擁護団体などからの申請を受け付けています。これらの団体の中には、障害者や高齢者ばかりでなく一般市民も一緒になって、誰もが住みよい町・地域づくり(ノーマライゼーション)を目指した取組も広がってきています。このような取組は行政まかせではなかなか実現しにくいものもあり、自由な活動が出来るNPOならではの取組です。少子高齢化が進む等福祉全般にわたる一層の充実が急務の我が国の現状を考えると、きめの細かい市民活動団体の活性化がますます重要となってきました。

## 3. 平成15年4月には障害者の「支援費制度」がスタート

平成12年にスタートした「介護保険制度」の実施に続き、平成15年度より障害者の「支援費制度」(注)が実施されます。この制度では、障害者が受けたサービスを自らの

選択で選ぶことが出来る受益者本意の制度となります。障害者支援団体は「支援費制度」の指定居宅サービス事業者となってサービスを提供し、その対価を公費である支援費として受領、より良いサービスの提供と安定した団体運営を行うために法人化を目指したいという応募も増えてきています。

**\*\* (注) 障害者「支援費制度」とは \*\***

従来、障害者が福祉サービスを受けようとした場合、行政がサービスの内容やサービス提供事業者を決定していました（「措置」制度）が、利用者(障害者)自身が受けたいサービスや事業者を選択でき、選択した事業者と直接「契約」をしてサービスを受ける制度が「支援費制度」です。

**4. 法人化の目的は社会的信用を得るため**

任意団体がNPO法人化を目指す第一の理由は、地域での社会的信用を得て地域で認知されることにあります。また、経営基盤を強化する、行政からの仕事が受託できる、寄付金・助成金が受けやすくなる等が主たる目的となっていますが、一般的には市民活動団体の収支は厳しいのが実状で、法人化後、地域から信頼され、協力を受けられるような活動を行うことがきわめて重要となってきます。社会人の一人として、より住みやすい地域づくりに貢献しているこれらの市民活動団体に関心を持ち、育てていくことが大切になってきます。

**● 平成14年度 社会福祉助成「NPO法人設立資金」助成先100団体一覧 ●**

決定ID	都道府県	団体名	代表者名	決定ID	都道府県	団体名	代表者名	決定ID	都道府県	団体名	代表者名	決定ID	都道府県	団体名	代表者名
02001	北海道	エルム運営委員会	村山 東平	02026	東京都	自立援助センター ログハウス	星川 智佳子	02050	長野県	ケアタウン遠間温泉	水澤 勇一	02076	兵庫県	ヴィーリール (生活支援センター)	鎌ヶ崎 勇子
02002	北海道	ホップ障害者地域生活支援 センター	竹田 保	02027	東京都	重度知的障害者の地域生活 を支援する会「やどかり」	木村 兼介	02051	長野県	やまびこ会	吉田 輝	02077	兵庫県	非営利活動団体茨路島ファミ リサポートセンターまあるく	堂前 千津子
02003	北海道	地域生活支援センター かしわのもり	松山 雅一	02028	東京都	無痛無汗症の会「トモロウ」	小田 幸子	02052	岐阜県	宅者所「楽らく」	武田 美津子	02078	兵庫県	地域生活支援センター れん	鈴木 美幸
02004	北海道	北海道福祉福祉研究セン ターおたる専業部	平 梓子	02029	東京都	障害児のための「かつしか風 の子クラブ」	小川 悦子	02053	岐阜県	障害者自立センター つっかいぼう	戸田 二郎	02079	兵庫県	地域共生スペース ぶりば	大江 尚子
02005	青森県	特定非営利活動法人 光の輝福祉研究会	太田 真	02030	東京都	こまえ精神障害者家族会	坂田 弘三	02054	静岡県	駿和会設立準備委員会	清浦 憲吾	02080	奈良県	トロ学園	小川 隆司
02006	岩手県	特定非営利活動法人 ふくとびあ水沢	及川 清隆	02031	東京都	どいりみんぐ	中島 佳子	02055	静岡県	けるん	福井 英子	02081	鳥取県	誠遠ふるさと塾	長谷 正徳
02007	岩手県	宮古地区いきいきワーキン グセンター	及川 新	02032	東京都	ピネット北	井上 良子	02056	静岡県	ゆうゆうの家	竹内 やあ子	02082	鳥取県	久米の家	松浦 幸子
02008	宮城県	つるがや地域生活支援セン ター設立準備会	水戸 烈	02033	東京都	マドレヌズ21	佐藤 信男	02057	愛知県	地域分かち合い ゆめじろう	出口 晋	02083	岡山県	親いの里	山本 勇子
02009	宮城県	NPOみやぎ「こうでねいと」	齋藤 宏直	02034	東京都	鯉子の会	米田 兼介	02058	滋賀県	障害者の自立生活を支援す る会	清水 義昭	02084	広島県	サポートセンターあしたば	市川 佳子
02010	秋田県	アイアンドユウ	保坂 敦子	02035	東京都	ハートテクノロジーコミュニ ティ運営委員会	花田 照久	02060	京都府	ジョイント・ほっと	吉本 武市	02085	山口県	バリアフリーの会	石本 弘子
02011	山形県	あずまうごぎの会	情野 順治	02038	東京都	障害者(児)と共に歩む会 なんでも工房	木村 淳子	02061	京都府	福祉支援サービス たんぼぼ	河野 通利	02086	徳島県	びゅあわっと	笹本 裕人
02012	福島県	こころネットワーク県南	齋藤 雄一	02038	神奈川県	障害者雇用システム研究会 雇用部会	北原 清信	02062	京都府	ふれあい共同作業所	福谷 民子	02087	香川県	Caクリエーション	松岡 克尚
02013	茨城県	スペース空	三浦 剛	02037	神奈川県	脳外傷友の会 ナナ	大塚 由美子	02063	大阪府	なにわ家族会	芝池 照代	02088	愛媛県	フラット	角森 義保
02014	茨城県	堀倉クラブ ボランのひろば	小園江 晴美	02038	神奈川県	汐見台福祉コミュニティ	梶形 昭徳	02064	大阪府	自立生活センターあるる	安原 美佐子	02089	高知県	高知県に富山方式のデイ サービスを作る会	高橋 派
02015	栃木県	障害者の社会参加を推進す る会「なすなの会」	渡辺 美恵子	02039	神奈川県	都筑ハーベストの会	佐々木 秀夫	02065	大阪府	リウマチ・難病福祉作業所 ワークショップ99	栗 菜子	02090	福岡県	シニアライフサポートセンター ほろ	鎌部 明人
02016	群馬県	東毛地域 生活支援セン ター「せせみ」	新井 慶之	02040	神奈川県	たすけあい はなも	小林 正子	02066	大阪府	ゆいまーる	山村 寿子	02091	福岡県	むなかた介護サービス 研究会	大林 京子
02017	埼玉県	自立生活センター道TOピア	飯田 力	02041	神奈川県	「わの会」	石井 幸子	02067	大阪府	ルツ福祉作業所 コミュニティ・ケア・ネット いずみ	川田 美智子	02092	佐賀県	ふれあいネット サガンズ	大田 卓生
02018	埼玉県	ケアサポート すずらん	船橋 正	02042	神奈川県	生活支援の会 ステップ	小久保 恭子	02068	大阪府	ほわほわの会	宮崎 亮弘	02094	熊本県	道企園 あおぞら作業所	松本 正隆
02019	埼玉県	自立援助ホームとここの家 ウェルフェア・コレクティブ・ケア びーぶる	佐藤 美智子	02043	神奈川県	NPOかむ	小倉 常明	02069	大阪府	ほわほわの会	宮崎 亮弘	02094	熊本県	道企園 あおぞら作業所	松本 正隆
02020	埼玉県	ウェルフェア・コレクティブ・ケア びーぶる	末森 克彦	02044	神奈川県	あつぎ精神障害者地域生活支 援センター法人設立準備会	山岡 功平	02070	大阪府	障害者の自立を支える サポートネットワーク	石倉 優子	02095	宮崎県	ひなたぼっこ会	時任 博之
02021	千葉県	備と健康の支援センター	山岸 東太郎	02045	新潟県	自立生活支援センター新潟 「食と福祉と環境」を考える ネットワーク	稲田 隆	02071	兵庫県	自立生活センター リングリ ング	中風 悦子	02096	宮崎県	自立する高齢社会を考える 会	藤原 一郎
02022	千葉県	自閉症サポートセンター	松井 宏昭	02046	富山県	サポートステーションWaku Waku	牛島 政信	02072	兵庫県	マザーサポートの会	藤井 啓子	02097	鹿児島県	特定非営利活動法人 自立支援センターかごしま	藤田 洋洋
02023	千葉県	在宅ヘルパーサービス朋	大野 真子	02047	石川県	さわやかさえぼらランティア 短	藤田 ゆかり	02073	兵庫県	阪神移動サービスネットワ ーク	蛭野 穂子	02098	鹿児島県	自立生活センター鹿児島	辻合 美由紀
02024	東京都	福祉ショップ わくわく	東谷 幸政	02048	福井県	福井県	天谷 まり子	02074	兵庫県	すまいる・フレンズ	中野 信夫	02099	鹿児島県	精神障害者共同作業所 「明りの家」	那川 龍一郎
02025	東京都	なかよし会設立準備委員会	田柄 みさ子	02049	長野県	岡谷市身体障害者協会	堀内 一光	02075	兵庫県	おりーむ21	岡田 昌三	02100	沖縄県	福祉ネットワークおきなわ	平 喜美子

## シンポジウムのご案内

日 時：平成14年10月18日（金曜日）13時～17時

場 所：全日通震ヶ関ビル 8階会議室

プログラム：

第1部 基調講演 「今なぜNPOと助成財団の協働が必要なのか」

講演者 雨宮 孝子氏 （松蔭女子大学教授）

第2部 シンポジウム

「NPOと助成財団の協働で社会がどう変わろうとしているのか」

第3部 シンポジウム

「NPOと企業・助成財団の協働を進めるのに何が必要か」

資料代：2,000円

NPO支援財団税氏研究会（事務局：当財団）主催のシンポジウムが開催されます。

第2部に、パネラーとして損保ジャパン環境財団の山中千花さんが、コーディネーターに当財団前専務理事の堀内生太郎氏が登壇されます。

関心のある方は、当財団または環境財団へお問い合わせください。

## 「安田火災記念財団賞」第1回審査会の開催

9月21日（土曜日）学士会館において、平成14年度第1回「損保ジャパン記念財団賞」審査会を開催いたしました。

本年度は、著書部門に16件、論文部門に9件の推薦を受けており、翌年1月の最終審査会までの全3回で審査を行い、著書部門で1件（原則）論文部門で3件以内（原則）の授賞作品を決定します。

\*\*\*損保ジャパン記念財団賞とは\*\*\*

平成11年度に新設した我が国唯一の社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する制度。目的は、“社会福祉分野の研究振興”により“わが国の社会福祉の発展に寄与する”ために社会福祉分野を研究する若手・中堅の人材を育成することにあります。本賞は、我が国の2大福祉学会である「日本社会福祉学会」及び「日本地域福祉学会」からの「後援」を受けた賞として関係者の間で注目を浴びています。

## 寄付金の御礼

● 次の方から寄付をいただきありがとうございました。心から厚くお礼申し上げます。

（平成14年6月21日～9月25日まで）

安田火災獅子の会(44年同期会)様